

(11)特許出願公開番号

特開2002-342513

(P2002-342513A)

(43)公開日 平成14年11月29日(2002. 11. 29)

(51)IntCl. ⁷	識別記号	F I	テームコード(参考)
G 0 6 F 17/60	1 3 8	G 0 6 F 17/60	1 3 8
	3 0 2		3 0 2 A
	3 1 8		3 1 8 G
			3 1 8 H
	3 3 4		3 3 4

審査請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 9 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-152111(P2001-152111)

(22)出願日 平成13年5月22日(2001.5.22)

(71)出願人 000005326
本田技研工業株式会社
東京都港区南青山二丁目1番1号

(72)発明者 大場 康司
東京都港区南青山2丁目1番1号 本田技
研工業株式会社内

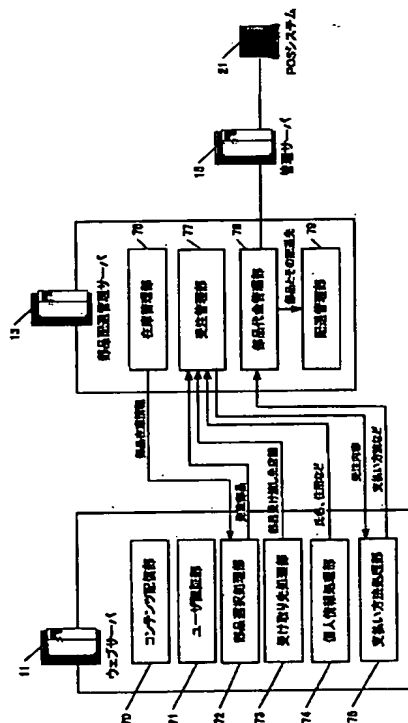
(74)代理人 100081721
弁理士 岡田 次生 (外2名)

(54) 【発明の名称】 部品受注システム

(57) 【要約】

【課題】 ドライバーに補修部品を確実に受け渡すためのコンピュータ・システムを提供することを目的とする

【解決手段】 部品受注システムは、受注用ウェブサイトを提供するウェブサーバに関連し、ユーザ端末から送信される情報に応じて部品を受注する部品受注システムであって、ユーザに部品を受け渡すことができる複数の受け渡し先を記憶する記憶手段を備え、前記システムは、ユーザ端末からインターネットを介して送信される場所に関する情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている複数の受け渡し先の中から受け渡し先の候補を選択し、前記受け渡し先の候補を示すページをユーザ端末に送信し、前記ユーザ端末に表示された前記ページに示される受け渡し先の候補の中から1つの受け渡し先が指定されることに応答して、該指定された受け渡し先を前記受注した部品の配送先として設定するようプログラムされている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】車両部品の受注用ウェブサイトインターネット上に提供するウェブサーバに関連し、ユーザ端末からインターネットを介して送信される情報に応じて部品を受注する部品受注システムであって、ユーザに部品を受け渡すことができる複数の受け渡し先を記憶する記憶手段を備え、前記システムは、ユーザ端末からインターネットを介して送信される場所に関する情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている複数の受け渡し先の中から受け渡し先の候補を選択し、前記受け渡し先の候補を示すページをユーザ端末に送信し、前記ユーザ端末に表示された前記ページに示される受け渡し先の候補の中から 1 つの受け渡し先が指定されることに応答して、該指定された受け渡し先を前記受注した部品の配送先として設定するようプログラムされている部品受注システム。

【請求項 2】前記ユーザ端末から送信される場所に関する情報は、少なくともユーザの現在地および目的地の情報を含み、前記システムは、現在地と目的地との間の経路に存在する適当な受け渡し先を受け渡し先の候補として選択するようプログラムされている請求項 1 に記載のシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを利用した部品受注システムに関連し、特に旅行先などでユーザに補修部品を確実に受け渡すシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】長距離ツーリングでは、自動二輪車が旅先で軽度の事故を起こし、ブレーキレバー、ウインガラステンズなどの部品を破損させてしまう場合がある。この様な軽度の損傷は、応急措置でその場をしのぐことが出来るが、長期にわたって旅行を続けるには運転者に多くの負担を与えることになる。その様な場合、運転者は、旅行先で補修部品を購入したいと考えるかもしれない。しかしながら、運転者は、慣れない旅行先では最寄りの販売店が何処に存在するのか分からない。さらに、ツーリングが連休中に行われている可能性が高いので、仮に販売店の場所が分かったとしても、販売店自体が休業中であつたりする。結果として、旅行先で運転者が補修部品を手に入れることは困難であつた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】したがって、旅行先などでも確実に運転者に補修部品を受け渡すことができるシステムの要求がある。この様なシステムは、1 年中あらゆる時間、あらゆる場所で補修部品の受注、受け渡しを行えることが望ましい。

【0004】本発明は、旅行先でドライバーに補修部品

を確実に受け渡すためのコンピュータ・システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の部品受注システムは、車両部品の受注用ウェブサイトインターネット上に提供するウェブサーバに関連し、ユーザ端末からインターネットを介して送信される情報に応じて部品を受注する部品受注システムであって、ユーザに部品を受け渡すことができる複数の受け渡し先を記憶する記憶手段を備え、前記システムは、ユーザ端末からインターネットを介して送信される場所に関する情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている複数の受け渡し先の中から受け渡し先の候補を選択し、前記受け渡し先の候補を示すページをユーザ端末に送信し、前記ユーザ端末に表示された前記ページに示される受け渡し先の候補の中から 1 つの受け渡し先が指定されることに応答して、該指定された受け渡し先を前記受注した部品の配送先として設定するようプログラムされている。

【0006】この発明によると、場所に関する情報に基づいて受け渡し先の候補が選択されるので、ユーザは、旅先などの慣れない場所でも、最適な部品受け取り先を容易に見つけることができる。

【0007】本発明の 1 つの形態によれば、前記部品受注システムにおいて、前記ユーザ端末から送信される場所に関する情報は、少なくともユーザの現在地および目的地の情報を含み、前記システムは、現在地と目的地との間の経路に存在する適当な受け渡し先を受け渡し先の候補として選択するようプログラムされている。

【0008】この形態によれば、ユーザは、旅行の途中に存在する部品受け渡し先を簡単に知ることができ、その中から最適な部品受け取り先を選択することができる。

【0009】

【発明の実施の形態】次に図面を参照して本発明を説明する。図 1 は、本発明の部品受注システムの概要を示している。例えば、ユーザが旅先で軽度の事故を起こし、補修部品を入手したい場合、ユーザは、任意のインターネット接続手段によってメーカーのウェブサイトアクセスする。インターネットに接続するための手段は、携帯端末 5、またはコンビニエンスストアなどの店頭で設置された端末 3 であつてよい。

【0010】メーカーのウェブサイトには部品の受注および配送を処理するためのウェブページが設けられている。ユーザは、このウェブページにアクセスし、ウェブページに設けられた入力フォームに必須事項を入力することによって所望の補修部品を注文することができる。さらに、ユーザは、このウェブページ上で部品を受け取る場所を指定することができる。

【0011】部品の受け渡しは、全国的に多数の店舗網

3

を有するコンビニエンスストアなどが代行して行う。部品を供給するメーカーは、これらの受け渡し代行業者と予め提携しており、ユーザは、それらの代行業者の店舗の中から任意の店舗を指定し、指定した店舗で部品を受け取ることができる。例えば、ユーザがツーリング中の場合、現在地から目的地の間の任意の通過点に存在する店舗を指定することによって、ツーリング日程を変更することなく旅先で補修部品を受け取ることができる。

【0012】メーカーに設置された部品配送管理サーバ13は、インターネットを介したユーザからの部品発注を受信し、ユーザが指定した部品受け渡し先の店舗に部品を配送するよう手配する。この際、部品配送管理サーバ13は、代行業者本部に設置された管理サーバ15を介してその店舗に部品が配送されることを通知する。通知を受けた店舗では、配送された部品を一時的に預かり、ユーザがその部品を取りに来たときにユーザに部品を受け渡す。1つの実施形態では、部品を受け渡す店舗で部品代金の支払い処理も実行される。

【0013】この部品受注システムでは、全国的に設けられた多数の店舗を通じて部品の受け渡しを行うことができるので、ユーザは、旅先でも確実に部品を受け取ることができる。さらに、部品の受注、配送の管理は、ネットワーク化されたサーバ上で全て処理されるので、ほぼ1年中24時間、ユーザの部品発注に対応することができる。

【0014】図2は、ユーザの部品発注のためにメーカー側のウェブサーバ11に設けられたウェブサイトの実施例を示しており、図3はユーザが行う部品発注の処理をフローチャートで示している。

【0015】最初にステップ101でユーザが部品発注用のウェブサイトにアクセスし、ユーザ認証ページ23が表示される。例えば、ユーザは、携帯電話5からインターネットを介してメーカーのウェブサーバ11にアクセスしてもよいし、コンビニエンスストアなどに設置された端末3を介してアクセスしてもよい。これらのインターネット接続手段は、ウェブサーバ11が提供するウェブページを表示する機能を有しており、ユーザは、ウェブページに表示されている指示に従って必須事項を入力し、補修部品を発注することができる。

【0016】この実施例の部品受注システムでは、部品受け渡しサービスは、予めメーカーと契約をした特定の会員ユーザのみに提供される。したがって、特定の会員登録をしたユーザを認証するために、図2のユーザ認証ページ23が提示される。

【0017】図4は、ユーザ認証ページ23の実施例を示す図である。ユーザ認証ページ23では、ユーザを識別するユーザIDおよびパスワードのための入力フォームが設けられている。ユーザは、ユーザ認証ページ23に表示されている入力フォームにユーザIDおよびパスワードを入力し、送信ボタン34をクリックすることに

4

よって、それらをウェブサーバ11に送信する。ユーザから送信されてきたユーザIDおよびパスワードはウェブサーバ11で受信されて認証される。この実施例では、ユーザは、認証がされないかぎりそれ以降のウェブページに進むことができない。

【0018】別の実施形態では、部品受け渡しサービスは、特定の会員に限定されず、一般ユーザを対象としてもよい。この様な場合、ユーザ認証ページ23は必要ではない。

10 【0019】ステップ105でウェブサーバ11にアクセスしているユーザが認証されると、部品選択ページ25が表示される。図5は、部品選択ページ25の実施例を示す図である。例えば、部品選択ページ25には、部品受け渡しサービスで提供される部品名33が表示されている。ユーザは、表示されている部品名33の中から所望とする部品名に付与されたチェックボックス35をチェックし、送信ボタン37でウェブサーバ11にその情報を送信する。これにより、ユーザは、所望の部品を選択することができる。

20 【0020】ユーザによって所望とする部品名がウェブサーバ11に送信されると、ステップ109で部品受け取り先ページ27が表示される。部品受け取り先ページ27では、ユーザは、部品の受け取り先を所望に応じて指定することができる。

【0021】図6は、部品受け取り先ページ27の1つの実施例を示す。部品受け取り先ページ27には、ユーザが受け取り先を指定することを容易にするために、受け取り先の検索フォームが設けられる。これは、全国各地に多数の店舗を有するコンビニエンスストアの中からユーザが1つの店舗だけを選択することを容易にする。

30 【0022】例えば、この実施例の場合、ユーザの現在地を入力するための現在地フォーム39および目的地を入力するための目的地フォーム41が設けられている。さらに、このページに設けられた店舗表示ウィンドウ51では、部品を受け渡すことができる店舗名（例えば部品を供給するメーカーと提携しているコンビニエンスストアの店舗名）が表示される。

【0023】この実施例では、ユーザが現在地フォーム39と目的地フォーム41に現在地と目的地をそれぞれ入力し、送信ボタン45をクリックすることによって、ユーザの現在地と目的地がウェブサーバ11に送信される。それらの情報を受け取ったウェブサーバ11は、それらの情報に基づいて現在地から目的地までに沿った部品受け渡し可能な店舗を検索し、さらに、それらの各店舗に部品が到着する日数をそれぞれ計算する。それらの処理を終えると、ウェブサーバ11は、その結果をユーザ側に送信し、部品受け取り先ページ27の店舗表示ウィンドウ51に表示させる。

50 【0024】この処理によって、店舗表示ウィンドウ51には現在地から目的地までに沿った部品受け渡し可能

な店舗と共に、ユーザが部品を受け取ることが可能な日付が表示される。ユーザは、自身の旅行日程に応じてこれらの表示された店舗の中から部品の受け取り先を指定することができる。例えば、この受け取り先店舗の指定は、所望の店舗のテキストボックス47上をユーザがクリックすることによってなされる。

【0025】部品の受け渡し先の店舗を指定する別の実施形態では、ユーザが部品を受け取りたい場所を段階的に選択することによって、受け渡し先店舗を決定することができる。この実施形態では、例えば、ユーザは、最初に部品を受け取りたい場所の県名をウェブページで指定する。次に、ユーザが指定した県名に基づいてその県に存在する市町村名がウェブページに表示される。ユーザは、表示された市町村名の中から部品を受け取りたい場所に合った市町村名を選択する。さらに、ユーザが市町村名を選択することによってより詳細な地名がウェブページに表示される。ユーザは同様の選択をウェブページ上で繰り返すことによって、受け取り先の場所を絞り込んでいくことができる。この処理により受け取り先がある程度絞られてきた時点で、部品受け渡し可能な店舗がウェブページに表示される。ユーザは、ウェブページに表示された店舗の中から適当な店舗を選択することによって部品受け渡し先の店舗を指定することができる。

【0026】この実施例の場合、地名または店舗と共に受け取り可能な予定日が同時にウェブページに表示されるのが好ましく、それによって、ユーザは、受け取り可能な予定日と受け取り場所の両方を考慮して、部品受け渡し先店舗を決定することができる。

【0027】部品の受け取り先がユーザによって指定されると、ステップ110で個人情報ページ29が表示される。個人情報ページ29では、氏名、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報の入力が必要とされる。図7は個人情報ページ29の1つの実施例を示す。ユーザは、個人情報ページ29に表示されている各入力フォームに個人情報を入力し、送信ボタン63をクリックすることによって、ウェブサーバ11に個人情報を送信することができる。

【0028】個人情報ページ29で個人情報がウェブサーバ11送信されると、ステップ113で支払い方法ページ31が表示される。支払い方法ページ31で、ユーザは、部品の発注内容を確認し部品の支払い方法を選択することができる。

【0029】図8は、支払い方法ページ31の1つの実施例を示す。支払い方法ページ31には、ユーザが発注した部品の明細が受注内容ウインドウ65に表示される。受注内容ウインドウ65には、受注部品名、部品単価、受注個数、送料、合計支払い金額などと共に、ユーザが指定した受け渡し先の店舗名、部品受け渡しの予定日などが表示される。ユーザは、受注内容ウインドウ6

5に記載される内容を確認して同意すれば部品代金の支払い方法を選択する。

【0030】図8の実施例では、2通りの支払い方法を選択することができる。第1の支払い方法は、部品を受け取る際に店頭で部品代金の支払いを行う方法であり、第2の支払い方法は、インターネットを通じてクレジットカードを使用して部品代金を前払いする方法である。ユーザは、支払い方法ページ31に表示された選択チェックボックス66のどちらかをチェックし、送信ボタン69をクリックすることによって支払い方法を選択することができる。

【0031】第1の支払い方法では、指定した店舗にユーザが行って部品を受け取ったときに、その店頭で部品代の支払いが行われる。メーカーに代わって支払い処理を代行する店舗は、POSシステムを備えており、本部とのネットワークシステムを介して部品代金が支払いわれたことをメーカー側に通知する。このような支払い代行処理そのものは、従来技術であるのでこの明細書では詳細に説明しない。

【0032】第2の支払い方法では、ユーザは、インターネットを通じて部品代を支払う。支払い方法ページ31において、この支払い方法の選択をユーザが送信すると、画面上にSSLなどのセキュリティを施されたウェブページが表示される。ユーザは、そのウェブページに表示された指示に従って支払いを処理することにより、クレジットカードを使用して部品代を前払いすることができる。このようなインターネット上の決済方法も従来技術であるのでこの明細書では詳細に説明しない。

【0033】1つの実施形態では、支払い方法が処理された後で受注内容ウインドウ65の内容が部品配送管理サーバ13に保持され、ユーザの所望に応じてその受注内容を確認することができる。この場合、ユーザの受注内容を一意的に特定するための識別コードが発行される。受注を完了した後でユーザが受注内容を再び確認したい場合、ユーザは、発行された識別コードをウェブサーバ11に送信することによって、部品配送管理サーバ13に保持されている部品の受注内容を確認することができる。

【0034】受注処理が完了すると、部品配送管理サーバ13は、配送伝票を作成し、メーカーの部品配送部門に通知する。すなわち、ユーザが発注した部品とユーザが指定した部品受け渡し先は、部品配送管理サーバ13によって作成された配送伝票を介して部品配送部門に通知される。通知を受けた部品配送部門では、配送伝票に基づいて部品の配送処理を行う。これにより、ユーザは、発注した部品を受け取り予定日に受け取り先店舗で受け取ることが可能になる。

【0035】図9は、本発明に従う部品受注システムを機能ブロックで示した図である。ウェブサーバ11は、インターネットを介してアクセスするユーザとのインタ

ーフェースを提供し、コンテンツ配信部70、ユーザ認証部71、部品選択処理部72、受け取り先処理部73、個人情報処理部74、支払い方法処理部75、を含む。

【0036】部品配送管理サーバ13は、ウェブサーバ11から送られてくるユーザの部品発注情報を処理して、部品の配送および部品代金の支払いの手続きを処理する。部品配送管理サーバ13は、在庫管理部76、受注管理部77、部品代金管理部78、配送管理部79、を含み、これらの機能ブロックは、先に述べたウェブサーバ11に含まれる機能ブロックとそれぞれ関連して動作する。

【0037】さらに、部品配送管理サーバ13は、任意のネットワーク相互接続手段を介してコンビニエンスストア本部の管理サーバ15と接続され、その管理サーバ15を介して部品受け渡し先の店舗に様々な情報（例えば、部品が配送されること、部品の受取人、代金の支払い方法など）を通知することができる。

【0038】以下では、これらの機能ブロックの動作をより詳細に説明する。ウェブサーバ11のコンテンツ配信部70は、一般的なウェブサーバの機能を処理し、ユーザ側にウェブページを提供する処理を行う。ユーザ認証部71は、ユーザ認証ページ23を介してユーザから送られてくるユーザIDおよびパスワードを認証する処理を実行する。これらの処理自体は、従来技術と同様の処理であるのでこの明細書では詳細に説明しない。

【0039】ウェブサーバ11の部品選択処理部72は、部品配送管理サーバ13における在庫管理部76の情報に基づいて、先に述べた部品選択ページ25を生成してユーザに提示し、部品選択ページ25を通じたユーザの部品選択を処理する。

【0040】例えば、部品の在庫が無い場合、その部品の発注をユーザから受けることはできない。そのため、部品選択処理部72は、部品の在庫状況を管理する在庫管理部76の情報に基づいて部品の在庫状況を把握し、配送可能な部品だけをウェブページ上で表示する。これによって、部品受注システムは、在庫がある部品だけを確実に受注することができる。表示された部品選択ページ25上でユーザが発注部品を指定すると、部品選択処理部72は、指定された発注部品を受注管理部77に通知する。

【0041】ウェブサーバ11の受け取り先処理部73は、先に述べた部品受け取り先ページ27においてユーザが部品受け渡し先店舗を指定する一連の処理を実行する。

【0042】図10は、受け取り先処理部72の処理を詳細に示すフローチャートである。ステップ201で、ユーザは、部品受け取り先ページ27を通じてユーザの現在地および目的地を受信する。

【0043】次にステップ202で、ユーザの現在地お

よび目的地に基づいて、ユーザが通過するであろう最適なルートが検索される。例えば、この様なルート検索の精度を高めるために、ユーザが既に通過予定にしている道路名やインターチェンジなどの情報が入力フォームとして部品受け取り先ページ27に設けられてもよい。この様なルート検索自体は、カーナビゲーションなどの分野で従来技術として公知であるので、ここでは詳細に説明しない。

【0044】ユーザが通過するであろう最適ルートが求められると、ステップ203で、そのルートに沿った部品受け渡し可能な店舗が検索される。具体的に説明すると、ユーザが国道10号線沿いを走行するルートがステップ202で求められると、国道10号線に沿って所定の距離範囲にある部品受け渡し可能な店舗が検索される。

【0045】部品受け渡し可能な店舗が検索されると、ステップ204で、それらの検索された店舗のそれぞれについて、ユーザが部品を確実に受け取ることができる日時が計算される。この処理のために、受け取り先処理部73は、各店舗について部品を発送してから到着するまでにかかる時間を一覧表として予め記憶している。

【0046】次に、ステップ205で、部品受け渡し可能な店舗とその部品受け渡し可能な予定日がユーザ側にウェブページとして表示される。ユーザは、表示された店舗と受け渡し予定日を考慮して部品を受け取る店舗を指定する。部品受け取り先ページ27でユーザにより部品受け渡し先店舗が指定されると、その情報が部品配送管理サーバ13の受注管理部77に通知される。

【0047】ウェブサーバ11の個人情報処理部74は、先に述べた個人情報ページ29においてユーザによって入力される情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど）を部品配送管理サーバ13の受注管理部78に受け渡し処理を実行する。

【0048】部品配送管理サーバ13の受注管理部77は、ウェブサーバ11の部品選択処理部72、受け取り先処理部73、個人情報処理部74のそれぞれから情報を受信すると、それらの情報から電子的な受注明細表を作成する。図11は、受注管理部77が作成する受注明細表の実施例を示す。この受注明細表には、部品選択処理部72、受け取り先処理部73、個人情報処理部74のそれぞれから送られてきた情報が1つの表にまとめられている。受注管理部77は、この電子的な受注明細表を作成すると、この受注明細表を支払い方法処理部75に送信する。

【0049】ウェブサーバ11の支払い方法処理部75は、支払い方法ページ31を作成しユーザ側に提示すると共に、ユーザによる部品代の支払い方法の選択を処理する。支払い方法ページ31に表示される受注内容ウィンドウ65は、受注管理部77から送られてきた受注明細表に基づいて生成される。ユーザが受注内容ウインド

ウ65に表示された受注内容に同意し、支払い方法が選択されると、支払い方法処理部75は、受注内容と共にユーザが選択した支払い方法を部品代金管理部78に通知する。

【0050】例えば、ユーザがインターネットを通じてクレジットカードで部品代を前払いすることを選択した場合、支払い方法処理部75は、この前払いの処理を実行すると共に、部品代が前払いされたことを部品代金管理部78に通知する。部品を受け取る際に店頭で部品代を支払うことをユーザが選択した場合には、支払い方法処理部75は、部品代が未納であることを部品代金管理部78に通知する。

【0051】部品配送管理サーバ13の部品代金管理部77は、支払い方法処理部75から送信された受注明細を保持し、部品代が支払いわれたかどうかを管理する。部品代金管理部77は、例えばコンビニエンスストアなどの本部に設置された管理サーバ15を介して部品が配送されることを部品受け渡し先の店舗に通知する。さらに、部品代金管理部77は、部品代の管理も処理し、部品代が未納であれば、その店舗で部品代を受け取るよう指示する。店頭でユーザにより部品代が支払われた場合、管理サーバ15を介して部品代金管理部78にその情報が送信される。これにより、部品代金管理部78は、部品代を一括して管理することができる。

【0052】部品代金管理部77は、この様な受け渡し先店舗への部品の配送通知および部品代金の管理と同時に、受注明細に基づいて配送すべき部品とその配送先の店舗を配送管理部79に通知する。

【0053】部品配送管理サーバ13の配送管理部79は、ユーザが発注した部品と、ユーザが指定した部品受け渡し先を含む配送伝票を作成し、メーカーの部品配送部門に通知する。通知を受けた部品配送部門では、配送伝票に基づいて部品の配送処理を行う。

【0054】部品配送管理サーバ13の在庫管理部76は、ウェブサーバ11の部品選択処理部72に部品の在庫状況の情報を提供すると共に、現在の部品の在庫状況

を管理している。例えば、ある1個の部品の受注がウェブサーバ11を通じて完了した時点で、その部品は既に予約済みとなる。このため、在庫管理部76は、ユーザの部品発注が完了した時点でその受注内容を受注管理部78から受け取り、その部品の在庫総数から発注個数を減算する。これにより、常に部品の在庫総数が最新のものに更新され、受注ミスを防止することができる。

【0055】以上この発明を特定の実施例について説明したが、この発明はこのような実施例に限定されるものではなく、当業者が容易に行うことができる種々の変形もこの発明の範囲に含まれる。

【0056】

【発明の効果】この発明によると、インターネットを介してユーザからの部品の発注を受けるので、あらゆる時間およびあらゆる場所から部品の発注を受けることができる。さらに、発注された部品が全国各地に存在する24時間営業の店舗を通じて受け渡されるよう手配されるので、旅行先でもユーザは確実に部品を受け取ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の部品受注システムの概要。

【図2】部品発注用ウェブページの実施例

【図3】ユーザが行う部品発注のフローチャート。

【図4】ユーザ認証ページの実施例を示す図。

【図5】部品選択ページの実施例を示す図。

【図6】部品受け取り先ページの実施例を示す図。

【図7】個人情報ページの実施例を示す図。

【図8】支払い方法ページの実施例を示す図。

【図9】部品受注システムの機能ブロック図。

【図10】受け取り先処理部の処理のフローチャート。

【図11】受注管理部が作成する受注明細表の実施例。

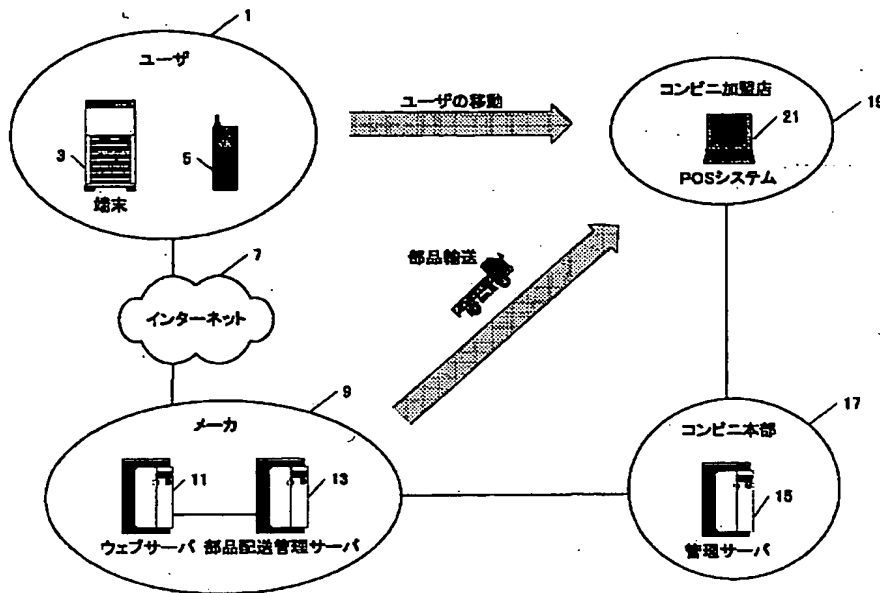
【符号の説明】

11	ウェブサーバ
13	部品配送サーバ
15	管理サーバ
21	POSシステム

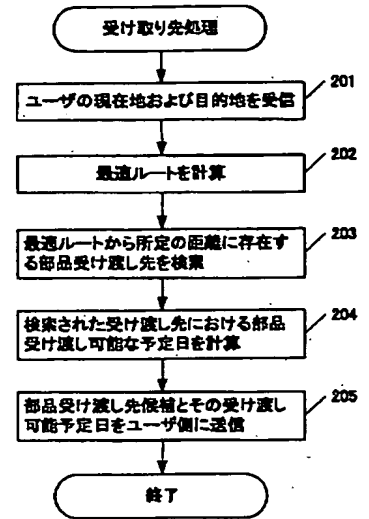
【図11】

発注日	***年**月**日
発注者	*****
発注者住所	**県****市*****
発注者電話番号	***-***-****
発注者メールアドレス	*****@***.co.jp
受け渡し先店舗	****店
受け渡し予定日	***年**月**日
発注部品1	部品1
発注部品2	部品2
.	.
.	.

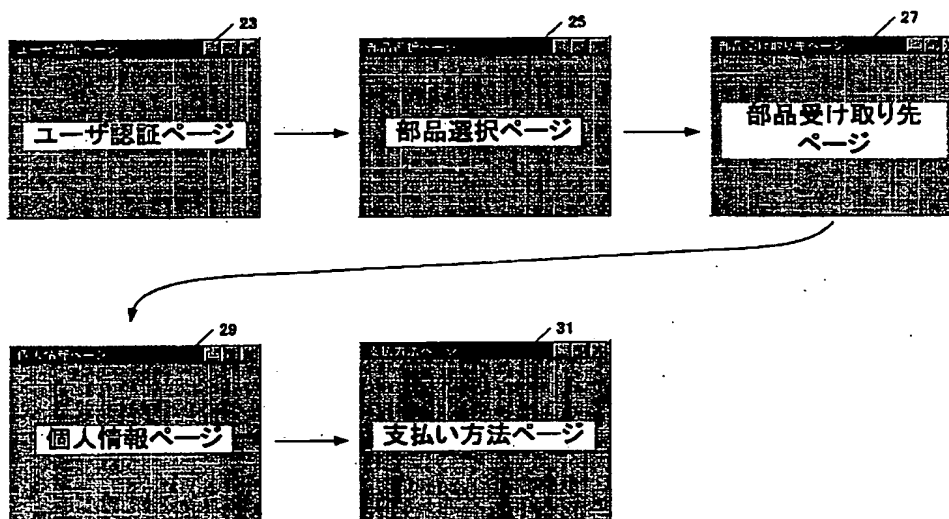
【図 1】



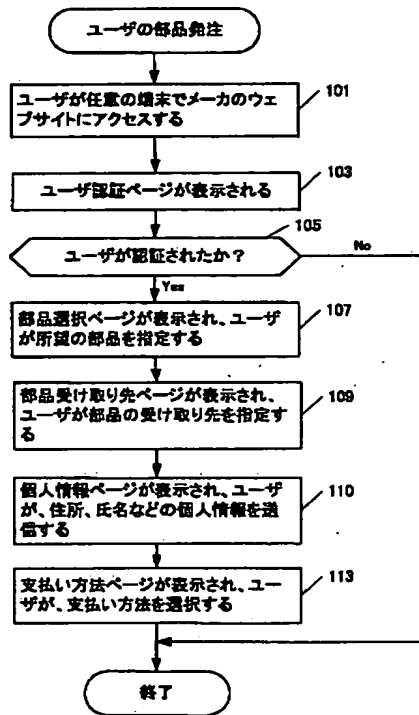
【図 10】



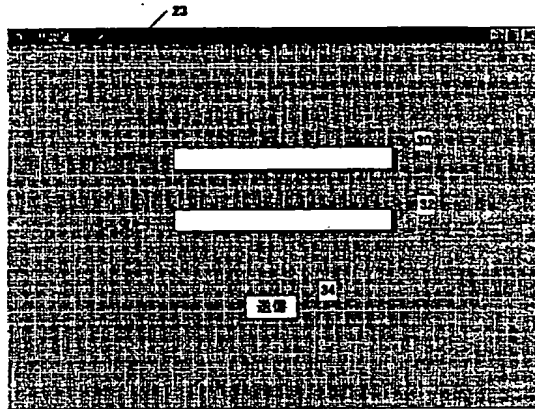
【図 2】



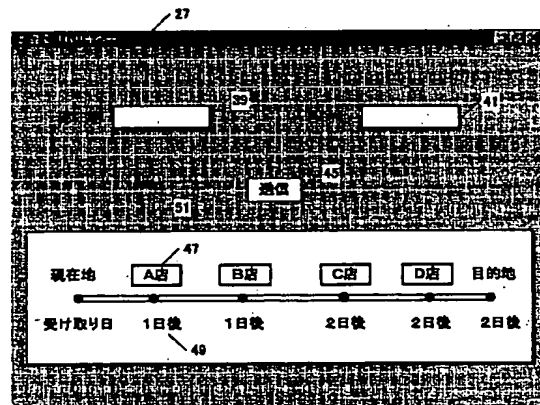
【図3】



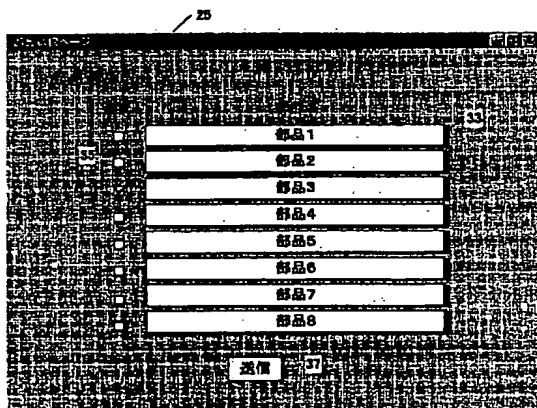
【図4】



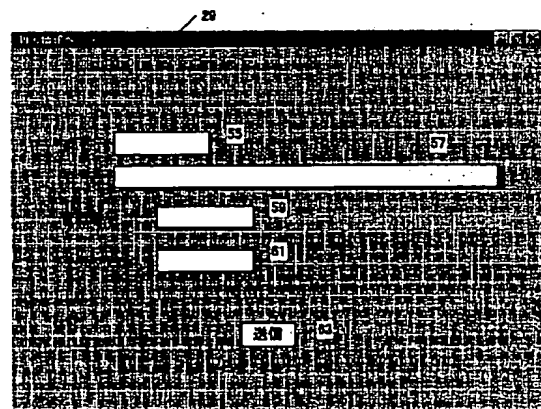
【図6】



【図5】



【図7】



【図8】

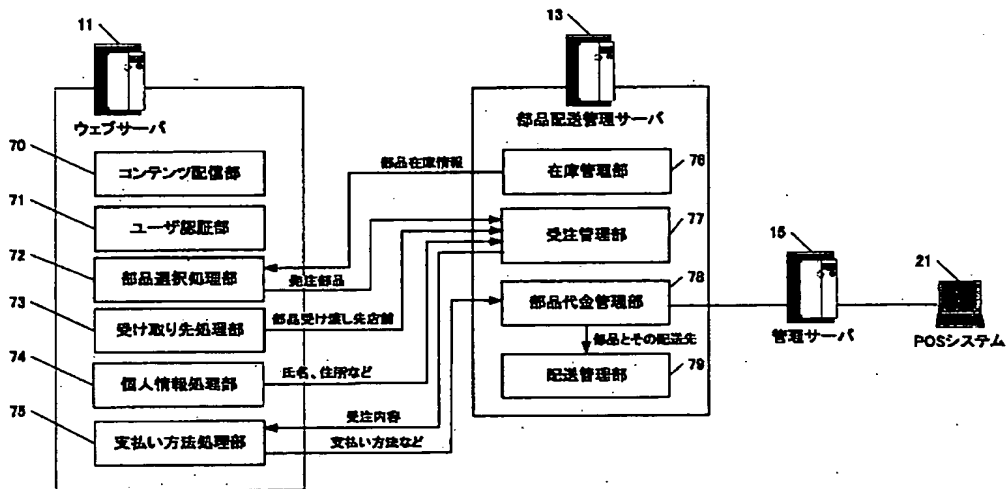
31

項目	単価	数量	計
部品1	¥3,000	1	¥3,000
部品2	¥10,000	1	¥10,000
送料	¥2,500	1	¥2,500
合計			¥15,500

受け渡し先:****店 受け渡し予定日:****年**月**日

送信

【図9】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

5 0 4

5 0 6

Z E C

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード(参考)

5 0 4

5 0 6

Z E C